

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

フロイト<sup>(1)</sup>によれば、人間の自己愛は過去に三度ほど大きな痛手をこうむったことがあるという。一度目は、コペルニクスの地動説によって地球が天体宇宙の中心から追放されたときに、二度目は、ダーウインの進化論によって人類が動物世界の中心から追放されたときに、そして三度目は、フロイト自身の無意識の発見によって自己意識が人間の心的世界の中心から追放されたときに。

**A** 実、人間の自己愛には、すくなくともひとつ、フロイトが語らなかつた傷が秘められている。だが、それがどのような傷であるかを語るためには、ここで**B** いうべきが回り道をして、まずは「ヴェニスの商人」について語らなければならない。

ヴェニスの商人<sup>(2)</sup>——それは、人類の歴史の中で「ノアの洪水<sup>(3)</sup>以前」から存在していた商業資本主義の**C** 体理者のことである。海をはるかへだてた中国やインドやペルシャまで航海をして絹やコシヨウや絨毯を安く買い、ヨーロッパを持ちかえって高く売ればよく。遠隔地とヨーロッパとのあいだに存在する価格の差異が、莫大な利潤としてかれの手元に残ることになる。すなわち、ヴェニスの商人が体現している商業資本主義とは、地理的に離れたふたつの国のあいだの価格の差異を媒介して利潤を生み出す方法である。ここでは、利潤は差異から生まれている。

だが、経済学という学問は、まさに、この**D** ヴェニスの商人を抹殺することから出発した。

年々の労働こそ、いずれの国においても、年々の生活のために消費されるあらゆる必需品と有用な物資を本源的に供給する基金であり、この必需品と有用な物資は、つねに国民の労働の直接の生産物であるか、またはそれと交換に他の国から輸入したものである。

「国富論」の冒頭にあるこのアダム・スミスの言葉は、一国の富の増大のためには外国貿易からの利潤を貨幣のかたちで蓄積しなければならないとす、重商主義者に対する挑戦状にほかならない。スミスは、一国の富の真の創造者を、遠隔地との価格の差異を媒介して利潤をかせぐ商業資本的活動にではなく、**E** 勃興しつつある産業資本主義のもとで汗水たらして労働する人間に見いだしたのである。それは、経済学における「人間主義宣言」であり、これ以後、経済学は「人間」を中心として展開されることになった。

たとえば、リカード<sup>(4)</sup>やマルクスは、スミスのこの人間主義宣言を、あらゆる商品の交換価値はその生産に必要な労働量によって規定されるという労働価値説として定式化した。

実際、リカードやマルクスの眼前で進行しつつあった産業革命は、工場生産による大量生産を可能にし、一人の労働者が生産する商品の価値（労働生産性）はその労働者がみずから生活を維持していくのに必要な消費財の価値（実質賃金率）を大きく上回るようになったのである。労働者が生産するこの剰余価値—それが、かれらが見いだした産業資本主義における利潤の源泉なのであった。もちろん、この**F** 利潤は産業資本家によって搾取されてしまうものではあるが、リカードやマルクスはその源泉をあくまで労働する主体としての人間にもとめていたのである。

だが、産業革命から二百五十年を経た今日、ポスト産業資本主義の名のもとに、旧来の産業資本主義の急速な変貌が伝えられている。ポスト産業資本主義—それは、加工食品や繊維製品や機械製品や化学製品のよような実体的な工業生産物にかわって、技術、通信、文化、広告、教育、娯楽といったいわば情報そのものを

商品化する新たな資本主義の形態であるという。そして、このポスト産業資本主義といわれる事態の喧噪のなかに、われわれは、ふたたび**G** ヴェニスの商人の影を見いだすのである。

なぜならば、商品としての情報の価値とは、まさに差異そのものが生み出す価値のことだからである。事実、すべての人間が共有している情報とは、その獲得のためにどれだけ労力がかかったとしても、商品としては無価値である。逆に、ある情報が商品として高値に売れるのは、それを利用するひとが他のひととは異なったことが出来るようになるからであり、それはその情報の開発のためにどれほど多くの労働が投入されたかには無関係なのである。

まさに、ここでも差異が価格を創り出し、したがって、差異が利潤を生み出す。それは、あのヴェニスの商人の資本主義とまったく同じ原理にほかならない。すなわち、このポスト産業資本主義のなかでも、労働する主体としての人間は、商品の価値の創造者としても、一国の富の創造者としても、もはやその場所をもっていないのである。

いや、さらに言うならば、伝統的な経済学の**H** 独壇場であるべきあの産業資本主義社会のなかにおいても、われわれは、抹殺されていたはずの**J** ヴェニスの商人の巨大な亡霊を発見しうるのである。

産業資本主義—それも、実は、ひとつの遠隔地貿易によって成立している経済機構であったのである。ただし、産業資本主義にとっての遠隔地とは、海のかなたの異国ではなく、一国の内側にいる農村のことなのである。

産業資本主義の時代、国内の農村にはいまだに共同体的な**K** ソウゴフジヨの原理によって維持されている多数の人口が**L** していた。そして、この**M** 農村における過剰人口の存在が、工場労働者の生産性の飛躍的な上昇にもかかわらず、彼らを受け取る実質的賃金の水準を低く抑えることになったのである。たとえ工場労働者の不足によってその実質的賃金率が上昇しはじめても、農村からだだに人口が都市に流れだし、ここでの賃金率を引き下げてしまうのである。

**N** 都市の産業資本家は、都市にいながらにして、あたかも遠隔地貿易に従事している商業資本家のように、労働生産性と実質賃金率という二つの異なる価値体系の差異を媒介できることになる。もちろん、そのあいだの差異が、利潤として彼らの手元に残ることになる。これが産業資本主義の利潤創出の秘密であり、それはいかに異質に見えようとも、利潤は差異から生まれてくるというあのヴェニスの商人の資本主義とまったく同じ原理にもとづくものなのである。

この産業資本主義の利潤創出機構を支えてきた労働生産性と実質賃金率とのあいだの差異は、歴史的に長らく安定していた。農村が膨大な過剰人口を抱えていたからである。そして、この差異の歴史的な安定性が、その背後に「人間」という主体の存在を肯定してしまふ、**P** 伝統的な経済学の「錯覚」を許してしまつたのである。

かつてマルクスは、人間と人間の社会的な関係によってつくられざる商品の価値が、商品そのものの価値として実体化されてしまふ認識論的錯覚を、商品の物神化と名付けた。その意味で、差異性という抽象的な関係の背後にリカードやマルクス自身が肯定してきた主体としての「人間」とは、まさに物神化、いや人神化の産物にほかならないのである。

差異は差異にすぎない。産業革命から二百五十年、多くの先進資本主義国において、**Q** 無尽蔵に見えた農村における過剰人口もとうとう**R** 枯渇してしまつた。実質賃金率が上昇しはじめ、もはや**S** とのあいだの差異を媒介する産業資本主義の原理によっては、利潤を生み出すことが困難になってきたのである。あたえられた差異を媒介するのではなく、みずから媒介すべき差異を意識的に創りだしていかなければならない、利

潤が生みだせなくなってきたのである。その結果が、差異そのものである情報を商品化していく、現在進行中のポスト産業資本主義という喧嘩に満ちた事態にはかならない。

差異を媒介して利潤を生み出していたヴェネシスの商人—あのヴェネシスの商人の資本主義こそ、まさに普遍的な資本主義であったのである。そして、「人間」は、この資本主義の歴史のなかで、一度としてその中心にあつたことはなかった。

(注)

- (1) フロイト—オーストリアの精神医学者 (1856～1939)。精神分析学の創始者として知られる。
- (2) 「ヴェネシスの商人」—シェークスピアの戯曲「ヴェネシスの商人」をふまえている。
- (3) ノアの洪水—ノアとその家族が箱舟に乗り大洪水の難から逃れる、「旧約聖書」に記されたエピソード。
- (4) リカード—アダム・スミスと並ぶイギリスの経済学者 (1772～1823)。

(岩井克人「二十一世紀の資本主義論」筑摩書房より。原文の一部を改変している)

問1 文中の空欄 **A** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a つまりは
- b しながら
- c それゆえ
- d あらかた
- e だから

問2 文中の下線部 **B** 「いささか」の同義語として適切でないものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 少しだけ
- b ころもち
- c わずかに
- d あいにく
- e いくらか

問3 文中の下線部 **C** 「体現者」の意味として、最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a ある計画を中心となって推し進め、期待通りに実現する人
- b ある社会での影響力や支配力を実際にもっている人
- c ある概念や理念を、自らの身をもって現実的・具体的に表現した人
- d ある団体の中における権力を独占し、恣意的に物事を進める人
- e ある世界を非日常の世界とつなぐ宗教的な資質を持った人

問4 文中の下線部 **D** 「ヴェネシスの商人を抹殺すること」が示す内容として、最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a ヴェネシスで働く商人を市場から追い出してしまふこと
- b 一国の富の眞の創造者を、労働する人間に見いだすこと
- c 遠隔地貿易をする商人を差別すること
- d ふたつの国のあいだの価格の差異を小さくすること
- e 経済学という学問から商業資本主義を排除すること

問5 文中の下線部E「勃興」の同義語として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 閉幕
- b 繁栄
- c 凋落
- d 流行
- e 有終

問6 文中の下線部F「利潤は産業資本家によって搾取されてしまう」が示す内容として、最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 産業資本家と労働者は、お互いに軽蔑し合っていたこと
- b 産業資本家と労働者が、一致団結して労働の成果を高めていくこと
- c 労働者が産業資本家に利潤を献上し、見返りを求めること
- d 産業資本家と労働者には、身分に大きな違いがあったこと
- e 産業資本家によって、労働者が作り出した剰余価値が不当に奪われていくこと

問7 文中の下線部G「ヴェニスの商人の影を見いだす」理由として、最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 情報を創り出す最大の努力によって最大の価値を生み出すことから
- b 情報をはるかへだたてた遠隔地に送ることから
- c 情報の差異を利用して利潤を生み出す者が現れることから
- d 情報を利用して価格の差を知る人々が増えることから
- e 情報を資本家と労働者が協力して生み出すことから

問8 文中の下線部H「独壇場」の意味として、最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a ある人が特定の位置を占拠している場所
- b 多くの人が見逃している恰好の場所
- c 相対する勢力による闘争が行われている場所
- d 独占的に商品を売ることのできる場所
- e その人が思うままに振る舞うことができる場所

問9 文中の下線部J「ヴェニスの商人の巨大な亡霊」が例えていることとして最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 産業資本主義のもとで汗水たらして労働すること
- b 人類の歴史を通じて長く存在を続けること
- c 情報の開発のために多くの労働を投入すること
- d 海を越えて旅をすることを天職とすること
- e 地理的に離れていることを利用して利潤を生み出すこと

問10 文中の下線部K「ソウゴフジヨ」の「フ」を漢字で書いたときに、その漢字と同じ漢字を含むものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 水の中をフユウする
- b 海外にフニンする
- c 全体をフカンしてみる
- d 幼い子供たちをフヨウする
- e 鉄道をフセツする

問11 文中の空欄L  に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 流入
- b 滞留
- c 枯渇
- d 流出
- e 不足

問12 文中の下線部 M「農村における過剰人口の存在」がもたらす事態の説明として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 農村の人口が過剰だったため、都市の資本家は少ない人数で利益を分け合うことができた
- b 工場労働者が不足しても農村からだちに人口が都市に流れ込んだため、都市の資本家は賃金水準を抑えることができた
- c 利潤をより大きくしたい都市の資本家が、工場で働く労働者の人数を出来るだけ少なくするようにした
- d 都市の資本家は農村に工場を作ることで過剰な人口を吸収して利益を得ることができた
- e 農村の物価が都市と比較して安かったため、都市の資本家は賃金を抑えることができた

問13 文中の空欄 N に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a とは言うものの
- b だが
- c たとえば
- d それゆえ
- e 加えて

問14 文中の下線部 P に「伝統的な経済学の『錯覚』」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 富の創造者は労働を管理する主体である
- b 価値を定める主体が富の創造者である
- c 価値を生み出す主体は人間である
- d 神こそが大きな余剰価値を生み出す主体である
- e 社会の安定こそが利益の源泉である

問15 文中の下線部 Q「無尽蔵」の意味として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 無茶なことを押し通すこと
- b あますことなく使うこと
- c いくら取ってもなくならないこと
- d 何も存在していないこと
- e すでに終わりが見えていること

問16 文中の下線部 R「枯渴」の対義語として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 堪能
- b 栄誉
- c 華美
- d 潤沢
- e 新鮮

問17 文中の空欄 S に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 労働生産性と遠隔地貿易
- b 労働生産性と実質賃金率
- c 工場労働者の努力と実質賃金率
- d 農村における過剰人口と実質賃金率
- e 農村の人口と都市の人口

問18 文中で筆者が述べている「アダム・スミスの人間主義宣言」とはどのようなものか。句読点を含め50字以内で説明しなさい。解答は、解答用紙の記述問題解答記入欄に書きなさい。